

群馬県立土屋文明記念文学館 第115回企画展 開催のご案内

「落語と文学」

日本の伝統芸能の一つであり、現在も多くの人に親しまれている落語。本展では、夏目漱石らの近代文学作品を通して、「話す」落語と「書く」文学の繋がりを紹介します。

野村たかあき作・柳家小三治監修の『らくごえほん』の原画展示や、立川がじら・柳家小もんの落語の常時上映もあります。

1 開催期間

令和4年4月16日(土)～6月12日(日)

火曜休館

※5月3日(火・祝)は開館、5月9日(月)は休館

午前9時30分～午後5時(観覧受付は午後4時30分まで)

2 観覧料

一般410円、大高生200円

※中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料

3 展示資料

約100点

【主な展示資料】

- ・夏目漱石『三四郎』
- ・三遊亭円朝演述『塩原多助一代記』
- ・二葉亭四迷「余が言文一致の由来」掲載『文章世界』1巻3号
- ・野村たかあき作/柳家小三治監修『らくごえほん』原画



4 関連行事

※(1)の申込は、当館HP申込フォーム、往復ハガキにて受け付けます。申込数が定員を超えた場合は抽選となります。

(1)落語会(各日14:00～15:00、定員100名、要事前申込、無料)

I 立川がじら 4月17日(日)

II 柳家小もん 5月8日(日)

III 春風亭一之輔 6月4日(土)

IV 創作落語「焼きまんじゅうろう旅姿～玉村宿の決闘」 5月3日(火・祝)

(2)担当学芸員による展示解説(各日14:00～14:20、要観覧料、申込不要)

4月16日(土)、5月22日(日)、6月12日(日)

○新型コロナウイルス感染症の影響により、会期・関連行事等が変更となる場合があります。

【事前取材について】

※4月15日(金)(企画展開幕前日)午後1時～5時までの間、取材等お受けいたします。

希望される場合はご連絡いただければ幸いです。